

## 北陸新幹線開業前に、JR芦原温泉駅で 地震発生による多数傷病者対応訓練を実施

2月26日（月）、あわら市で震度5強の揺れを観測する地震が発生し、新幹線から降りてきた多くの乗客が駅の階段から転落し、ケガ人が多数発生しているとの想定で行われ、嶺北消防組合及び福井市消防局、JR職員の60名が参加しました。

訓練では、駅員がケガ人の状況を確認し消防へ通報。駆けつけた消防署員がケガの状況に応じて優先順位を決める「トリアージ」を行い、重症の乗客を担架に乗せて救急車で搬送しました。

訓練に参加した消防署員は、駅舎の構造や避難ルートの確認ができ、JR職員との連携を強めることが出来ました。

